



あら...もう
達してしまわれ
たのですか？

ご主人様はペット♡

昨日は私の
手の中で...

今日は足の裏
だなんて♡

大の男が
みっともない...♡

本当に情けない
旦那様ですわ♡

いりなり
♡
Servant

このドSメイド：
翠との出会いは
二月ほど前の事だ

猫耳娘…!!?

ん？

そういえば
噂に聞いた事が
ある…

人間界に迷い込む
巫人の話と…彼らを
捕まえて売りさばく
闇オークションの話
都市伝説の類だと
思っていたけど…
本当だったのか…？

うわっ!!

んい…!!

わ…私…

怖い人間に追われ
夢中で逃げて…
あなた様のお屋敷に
迷い込んだのです…

キラ

キラ

ドキッウウウ

か…っ

可愛い!!

お願いです…
どうか…どうか
匿って頂くことは
できませんか…？

も…勿論だよ
怖かったんだね…
ここには悪い奴は
こないから…

☆☆

可憐でいじらしくて
猫耳で…まさに僕の
理想の女の子だ!!



お前が選んだ
娘ならば心配
ないだろう

引き続き
私の留守を
頼んだぞ



や…

やったね
翠!

まっ!

これで今日から
君もこの屋敷の
一員だよ…!



—だから
父さん:

この子をうちで
メイドとして雇って
あげたいんだけど…
いいかな?

そうか…お前にも
そろそろ専属の従者を
付けねばと思って
いたんだが…



気安く

触れないで
頂けますか?

はい

…え?

まずは…どちらの
立場が上なのかを
ご説明申し上げねば
ならないようですね

えええ?

政略結婚に
嫌気がさして
一か八かでこちら側に
飛び込んだのですが…

予想以上に
充実した生活が
送れそう…♡

手始めに
この契約書は
私が書き直して
差し上げます

よろしくお願い
いたしますわ…
旦那様♡

えええええ…!?

—それから
僕と翠の立場は
一瞬にして逆転…

「性欲処理」と称した
翠の暇つぶしが毎日
行われている

す…翠っ
こんな所で…

他のメイドに
見られちゃうよ…!

モゾ

モゾ

見られたら…
なんなのです?

私は駄目な主人の
性欲処理をして
差し上げているだけ
ですから…

ちっとも
構いませんけれど

あ…あ
あ…あ

うああ…あ!!

ちゅ二♡

ちゅ二♡

そもそも…その
「翠」とかいふ
古臭い呼び名
ですけれど…

私には
スィーニイという
誇り高い名前が
あるのですが

だ…だって
呼びづらくて…

はあ…?



にゃるんッ

…何故かしら…

いつもしている事
なのに…なんだか
身体が熱い…

はあ

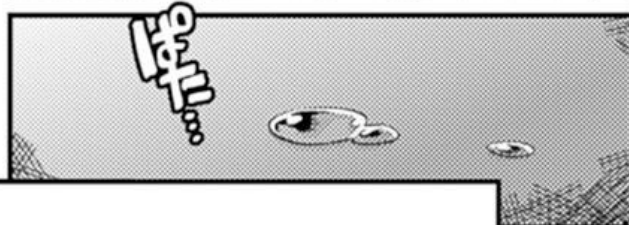
それに…
この匂いを嗅いで
いると…なんだか…

頭が痺れて…

も…

翠…

ごめん…髪に
跳ねちゃった…





いつも散々
遊んでくれる
からなあ…

アッるんっ

るんっ…

たまには
お返しして
あげないと

…っ!?

な…なんですか?
そんな粗末な物を
差し出されて…

キエッ

キエッ

あ…駄目…
この匂いを嗅いで
しまっ…

また…頭の奥が
痺れて…っ♡

はあ…

すっ…

私が舐めたり
するとでも…?

よかった!

減らず口を叩く
元気はあるんだ

ひゃ…っ

そうこなくっちゃ
つまらないからね

んんん!!

んぐ…っ!?

んぐんぐ…っ!!



すごい…
翠の中…想像より
ずっと熱くて…

気持ちいい…っ！

ぽんぽん

♡♡♡

ぽんぽん

♡♡♡

ぽんぽん

わ…私
なんて恥ずかしい
声を上げて…!!

翠の品種
ロシアアンブル
っつめ…

ぽんぽん

♡♡♡

♡♡♡

ぽんぽん

ボイスレスキャット
って呼ばれるくらい
鳴かない猫なんだ

だから最初は
発情期だって
気づかなかったよ

あ…っ
当たり前ですわ

こんな粗末な
ちゃんぽでっ…私が
声を上げると
でも…っ？

ずめずめ

ずめずめ

そう…私は誇り高い…
純血のロシアアンブル

こんな…こんな
駄目主人なんかに
鳴かされる訳には…!!

強がってる
いつもの翠も
いいけど…

す…

もっと翠の
発情した鳴き声
聞きたいなあ



そーれ
トントントン〜！



猫の性感帯
なんだって

あはっ…やっぱり
翠も弱いんだね
尻尾の付け根！



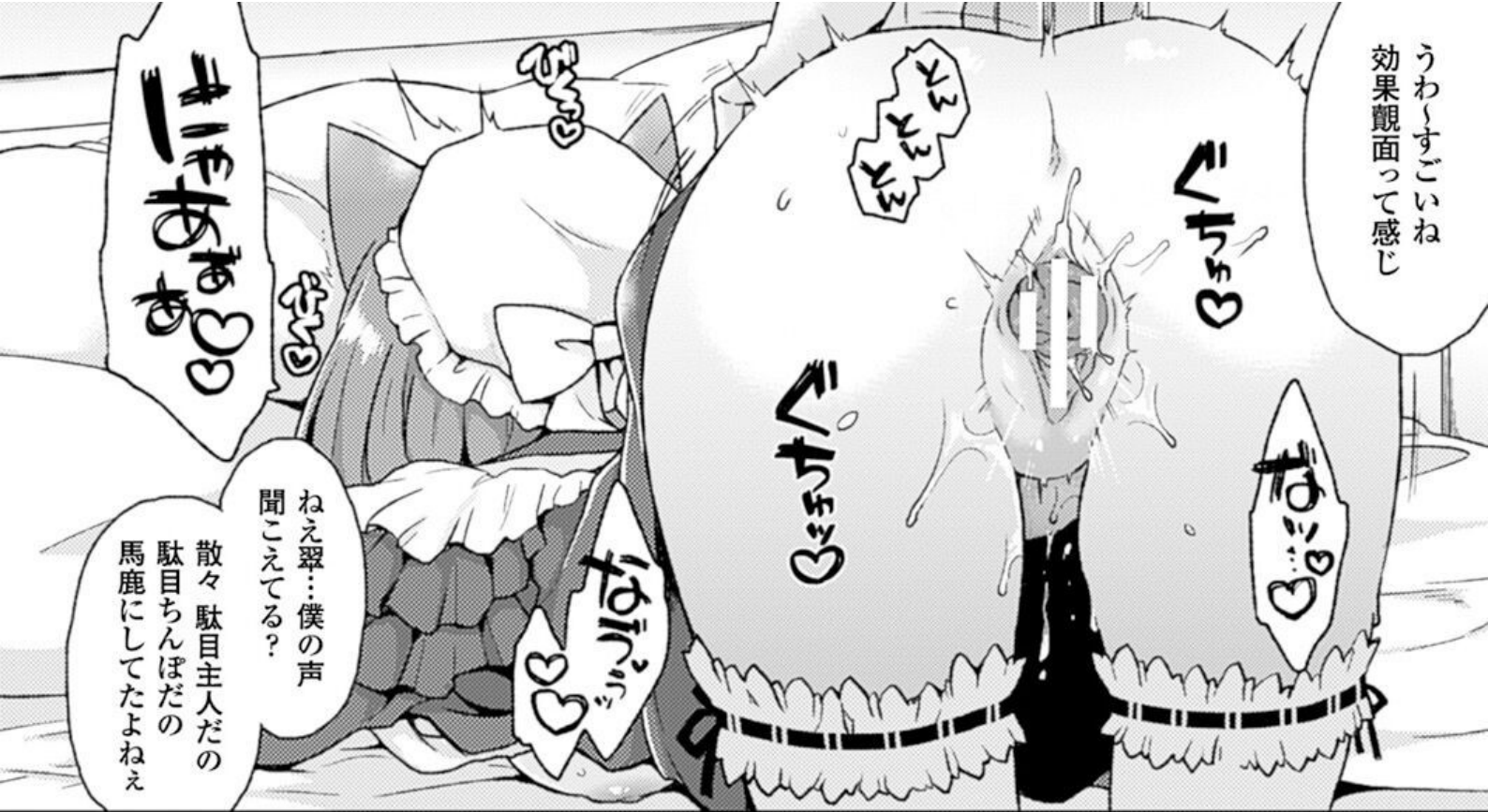
だめえ…っ♡
何も考えられなく
なっちゃうつ♡



トントンする度
中が締め付けて
くるよっ

おまんこくちゅくちゅ
するのやめてええっ♡♡

うわーすごいね
効果観面って感じ



その駄目ちゃんぽに
屈服させられてる
気分はどう?

あ♥あ♥
もう...いいの♥
もうなんでも
いいの♥





